

July 21, 1997. 北海道 瀬戸瀬温泉

JR 遠軽駅で瀬戸瀬温泉へのバス便を確認する。8時20分発の便があるつもりで日程を組んでいたが、なんと日曜祭日は13時頃まで便はないとのこと。とてもそこまで時間をむだにはできなく時間を買ったつもりでタクシーを利用。30分以上を要して瀬戸瀬温泉ホテルに着く。ホテル前広場路面ではもう複数のコヒオドシとコムラサキが吸水をしている。宅急便で発送しておいた採集用具を確認し、オオイチモンジを求めて林道に入る。やや新鮮度の低いホソバヒョウモンがあちこちに飛び、複数のコムラサキとシータテハ、ヒオドシチョウが路面で吸水している。キバネセセリ、コチャバネセセリなどがキツネと思われる獣糞に群れ集い、路傍のヒメジョオンや山際のヒヨドリバナの花には新鮮なコヒオドシ、ホソバヒョウモン、エゾスジグロシロチョウなどが群がって吸蜜している。昼食後はオオイチモンジをあきらめてVideoカメラを持たないでホテルから下方にむけてアスファルト道路を探索する。道路沿いの草むらから飛び出たやや大き目のブルーをネットインすると初めてのゴマシジミ。さらにヒメジョオンの花を注意して歩くとコヒオドシに混じって黒い小型のシジミチョウが目に入る。なんとジョウザンシジミだ。これは予期していなかっただけに嬉しいがVideoを置いてきたことが悔まれる。脇道を登った広場でコムラサキを追い、この日は目的のオオイチモンジに成果はなく終了。



July 21, 1997  
北海道瀬戸瀬温泉  
ジョウザンシジミ  
leg. M. Shimazaki

July 10, 1999 定山溪豊平峡

朝食後は国道230号線を北上して、最後の蝶目的地：定山溪豊平峡にむかう。蝶採集案内書に書かれていた駐車場のつもりで乗り入れた場所はいきなり冷水トンネルの入口となっており、電気自動車のサービスもあるトンネル内を徒歩でダム方向に進む。およそ2キロの距離だ。トンネルをぬけてまっすぐいけばダムだが、蝶が目的のわれわれはすぐ右のハイキングコースへと入る。右の崖には黄色のエゾキリンソウが咲いており、これは蝶採集案内書の記載どおり。まもなく新鮮なジョウザンシジミがちらちらと地面近くに現れたところをネットイン。遊歩道の左直下が深い峡谷となっていて、その崖にもエゾキリンソウが多く咲いており、北海道産亜種の

ギンボシヒョウモンがキリンソウを目指して次々と飛んでくる。同じ場所でねばっても一番期待したシロオビヒメヒカゲ



July 10, 1999  
札幌定山溪豊平峡  
ジョウザンシジミ  
leg. M. Shimazaki

July 10, 1999  
札幌定山溪豊平峡  
ジョウザンシジミ  
leg. M. Shimazaki

が出てこないの、5メートルほどの短いトンネルをくぐって下の方へと進んでみる。再び地面近くを飛ぶジョウザンシジミが目に入りすばやくネットイン。やはり新鮮な個体であり三角紙に納める。